

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
施策1 地域における子育ての支援					
1-1 地域における子育て支援サービスの充実					
1-1-1		くりはらファミリー・サポート事業 [重]	児童の預かり等の援助を受けることを希望する人と、援助を行うことを希望する人との相互援助活動に関する連絡・調整を行います。また、会員相互の交流や仲間づくりを推進します。	子育て支援課	協会員講習会の開催：1月28日 参加人数 12人 協会員ステップアップ講習会及び意見交換会の開催： 10月5日 参加人数 7人 利用会員及び協会員募集のための事業周知及び啓発活動 会員数： 利用会員数 44人（H23.3.1現在）→53人（H24.3.1現在） 協力・両方会員数 42人（H23.3.3現在）→43人（H24.3.1現在） 援助活動件数：605件（H23.3.31現在）→363件（H24.3.31現在）
1-1-2		乳児家庭全戸訪問事業・養育支援訪問事業 [重]	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を保健師や助産師が訪問し、様々に不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が特に必要な家庭に対し、適切なサービス提供につなげます。 特に養育支援が必要な家庭に対しては、保健師等による具体的な養育に関する指導・助言を行います。	健康推進課	・保健師または助産師が産婦新生児のいる家庭へ訪問し、育児支援や異常の早期発見、産後うつ病の早期発見、保健指導の実施。 ・医療機関からのケース連絡もあり、早期に訪問対応ができた。 ・出生数 465人 訪問実施 462人（99.4%） （里帰りについては、他市町村と連携し、訪問を実施した。）
1-1-3		子ども家庭支援員訪問事業 [新]	子育てに関する不安や悩みを抱える家庭に対し、子ども家庭支援員を派遣し、育児の悩みの傾聴や育児や家事の支援等を行い、育児期の孤立感や育児不安の軽減を図ります。	子育て支援課	支援員1名体制で実施。 訪問家庭数：1世帯 訪問回数：41回
1-1-4		病児・病後児保育事業	保育所等へ通所中の児童が発熱等の急な病気となった場合、当該児童を専用スペース等において保育する事業です。地元医療機関と協議し実施に向けた検討を行います。	子育て支援課	病児・病後児保育事業の実施の可能性について調査・研究を行った。
1-1-5		放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） [重]	保護者が仕事等により、日中家庭にいない小学校低学年の児童を、授業の終了後、小学校や集会所、児童館等で預かり、「遊び」や「生活」を通して、子どもの健全育成を図ります。	社会教育課	平成23年度利用児童数（平成24年3月31時点）：488（定員575） 築館：96（105）、宮野：24（40）、若柳：88（80）、栗駒：31（30）、尾松：24（35）、高清水：34（30）、一迫：39（40）、金田：15（20）、長崎：0（20）、姫松：8（20）、瀬峰：23（30）、鶯沢：19（30）、金成：23（20）、志波姫：64（65）、花山：0（10）
1-1-6		幼稚園預かり保育事業	幼稚園における教育時間終了後、家庭において保育に欠ける園児を対象に午後も引き続き園児を預かります。	学校教育課	市内7園で幼稚園における教育時間終了後、家庭において保育に欠ける園児を対象に午後も引き続き園児を預かった。 ・通常保育日（月～金） 降園後から午後6時まで ・長期休業等（夏季等） 午前8時から午後6時まで ・一時預かり保育の実施
1-1-7		地域子育て支援センター事業 [重]	地域の子育て支援の活動拠点として、子育て家庭の支援活動の企画及び実施を担当する職員を配置し、親子の遊びの場の提供、育児不安等についての育児相談、子育てサークル等への支援を実施します。	子育て支援課	平成23年4月からの鶯沢幼保一体施設の開所と併せ、鶯沢保育所内において鶯沢子育て支援センターの事業を開始した。
1-1-8		家庭児童相談	相談者が電話や来庁により、気軽に家庭や児童に関する様々な相談ができるよう家庭相談員を配置して相談に対応するとともに、必要に応じて家庭訪問や関係機関との連絡調整を行います。また、子育て支援課及び各総合支所の保健師が専門相談に対応します。	子育て支援課	家庭児童相談員を2名配置し相談業務を行った。 相談件数 367件

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	1-1-9	保育サービスに関する情報提供 [重]	妊娠から出産、子どもの発育、保育所や幼稚園などの子育てに関する情報を盛り込んだ「栗原市子育て応援ガイドブック」を、子育て家庭に配布します。また、インターネットを活用した情報発信を充実させます。	子育て支援課	平成22年度に作成した「子育て応援ガイドブック」を出生者や子どものいる転入者に対して配布した。
	1-1-10	育児関連講座	乳幼児期の子どもの成長に関わる正しい知識や親の役割、家庭環境づくりなど育児に関する講話を実施し、学習機会の提供に努めます。	健康推進課	子育て講話を実施した。 場所：子育て支援センター、保育所、母子寮、地域の集会所 他 内容：歯科講話や子育ての講話、栄養講話と調理実習 開催回数：58回 参加者：延 1,318人
1-2 保育サービスの充実					
	1-2-1	通常保育事業 [重]	保護者が日中就労等のために保育できない児童を月曜日から土曜日まで（祝祭日及び年末年始を除く）保育所で保育します。 厚生労働省がとりまとめた「新待機児童ゼロ作戦」の目標である、3歳未満児に対する保育サービスの提供割合38.0%を早期に達成し、待機児童解消に努めます。	子育て支援課	栗原市入所児童 963人（H24.3.31現在） 市内保育所 950人 市外保育所 26人（大崎市5人、登米市12人、一関市9人） 広域受託児童 13人（大崎市4人、登米市2人、一関市7人） 引き続き、入所児童の世帯状況に応じて入所承諾期間の制限を行い、待機児童の解消に努めた。
	1-2-2	延長保育事業	保護者の多様な勤務形態に対応できるよう、保育所において、通常保育の前後に時間を延長して保育を行います。引き続きすべての保育所で実施します。	子育て支援課	保護者の希望に応じ、栗原市の全保育所で実施した。 平成23年度利用件数 平日利用 182件 土曜利用 63件
	1-2-3	一時保育事業	保育所に入所していない児童を対象に、一時的に保育が必要となった場合や、リフレッシュ等のために児童を預かります。	子育て支援課	保護者の希望に応じ、栗原市の10保育所で実施した。 平成23年度利用件数 一日利用 2,883件 半日利用 606件 給食利用 3,141件
	1-2-4	保育料の軽減	同一世帯から同時に2人以上の児童が保育所に入所している場合、2人目以降の入所児童の保育料を軽減します。	子育て支援課	栗原市入所児童 1,311人（H24.3.31時点：退所児童含む） 対象児童 187件 24,457,380円 市内保育所179件 23,632,620円 市外保育所 8件 824,760円 2人目の保育料軽減（国基準半額、栗原市半額）を実施した。
	1-2-5	幼稚園、保育所の一元化の推進	地区内の乳幼児数や施設の状態などを鑑みながら幼稚園と保育所の一元化施設の整備を推進します。	学校教育課 子育て支援課	（教育環境推進室） 4月から鶯沢地区で幼稚園、保育所、子育て支援センターの幼保一元化を実施した。
	1-2-6	保育所での緊急連絡網の構築 [新]	保育所での緊急情報や防犯情報のほか、行事情報などを保護者にメール配信し、児童の安全対策や保護者と保育所との間の情報共有を図ります。	子育て支援課	れんらっこの登録者数を増やし、発信する情報の内容を充実させた。 登録者数：平成22年度末648人、平成23年度末725人

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	1-2-7	すこやか子育て支援金の支給	保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもが生まれたとき及び第3子以降の子どもが小学校に入学したときに支援金を支給します。	子育て支援課	出生祝金支給件数 1子（2万円）173件、2子（2万円）166件、3子（5万円）85件、4子（10万円）15件、5子以降（20万円）4件、計443件 入学祝金 3子（10万円）63件、4子（10万円）10件、5子以降（10万円）4件、計77件
1-3 子育て支援のネットワークづくり					
	1-3-1	地域子育て支援センター事業（再掲）[重]	地域の子育て支援の活動拠点として、子育て家庭の支援活動の企画及び実施を担当する職員を配置し、親子の遊びの場の提供、育児不安等についての育児相談、子育てサークル等への支援を実施します。	子育て支援課	平成23年4月からの鶯沢幼保一体施設の開所と併せ、鶯沢保育所内において鶯沢子育て支援センターの事業を開始した。
	1-3-2	子育てサークルの支援	子育ての各種サークルの活動を支援するため、場所の提供、保健師、栄養士、保育士等の人材の派遣等の支援を行います。	子育て支援課	子育てサークル等からの相談等を待たず、各地域で行っている子育て支援センターからも積極的に関係を持ち、相談内容に応じた専門職員の派遣等を行った。
	1-3-3	くりはらファミリー・サポート事業（再掲）[重]	児童の預かり等の援助を受けることを希望する人と、援助を行うことを希望する人との相互援助活動に関する連絡・調整を行います。また、会員相互の交流や仲間づくりを推進します。	子育て支援課	協力会員講習会の開催：1月28日 参加人数 12人 協力会員ステップアップ講習会及び意見交換会の開催：10月5日 参加人数 7人 利用会員及び協力会員募集のための事業周知及び啓発活動 会員数： 利用会員数 44人（H23.3.1現在）→53人（H24.3.1現在） 協力・両方会員数 42人（H23.3.3現在）→43人（H24.3.1現在） 援助活動件数：605件（H23.3.31現在）→363件（H24.3.31現在）
	1-3-4	保育サービスに係る情報提供（再掲）[重]	妊娠から出産、子どもの発育、保育所や幼稚園などの子育てに関する情報を盛り込んだ「栗原市子育て応援ガイドブック」を、子育て家庭に配布します。また、インターネットを活用した情報発信を充実させます。	子育て支援課	平成22年度に作成した「子育て応援ガイドブック」を出生者や子どものいる転入者に対して配布した。
1-4 児童の健全育成					
	1-4-1	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）（再掲）[重]	保護者が仕事等により、日中家庭にいない小学校低学年の児童を、授業の終了後、小学校や集会所、児童館等で預かり、「遊び」や「生活」を通して、子どもの健全育成を図ります。	社会教育課	平成23年度利用児童数（平成24年3月31時点）：488（定員575） 築館：96(105)、宮野：24(40)、若柳：88(80)、栗駒：31(30)、尾松：24(35)、高清水：34(30)、一迫：39(40)、金田：15(20)、長崎：0(20)、姫松：8(20)、瀬峰：23(30)、鶯沢：19(30)、金成：23(20)、志波姫：64(65)、花山：0(10)
	1-4-2	豊かな心を育む教育環境創造事業	いじめ、不登校問題への対応として、問題を抱える児童・生徒、保護者等への支援や相談体制を整備します。	学校教育課	教育相談員1名、スクールソーシャルワーカー1名、問題を抱える子ども等の自立支援事業相談員・指導員各1名、在学青少年指導員等3名を配置して各種相談業務を実施した。
	1-4-3	青少年のための栗原市民会議	青少年の健全な育成を市民総ぐるみで推進することを目的に、青少年関係団体や関係機関により組織し、少年の主張の開催、青少年の非行防止運動を行うなど、様々な活動を実施します。	社会教育課	震災の影響で会場を変更し、7月に「少年の主張」を栗駒中学校で開催。市内各中学校の代表が発表し最優秀賞を受けた中学生が市代表となり、9月の県大会で発表、優秀賞を受賞した。 旧町村ごとにある地区会では合併前より行ってきた地区の行事等を実施した。

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	1-4-4	民生委員・児童委員の活動の支援	民生委員・児童委員協議会の定例会や随時開催される研修会等で児童の健全育成に関する情報共有を図ります。	社会福祉課 子育て支援課	（子育て支援課） 地区定例会における児童福祉に関する研修会 2回 （社会福祉課） 地区定例会において児童福祉に関する研修会開催 3地区延べ9回 委員と学校との懇談会を開催し情報提供を行った 7地区延べ12回 主任児童委員部会において学校教育の現状について研修 1回
1-5 交流事業の充実					
	1-5-1	保育所地域活動事業	運動会やお遊戯会等の事業に地域の高齢者や子どもたちを招待したり、老人クラブとのお茶会、デイサービス交流会の実施などにより、保育所に入所している児童と保育所を利用していない児童や地域の住民等との交流を図ります。	子育て支援課	運動会やお遊戯会等の事業に地域の高齢者や子どもたちを招待した。 また、老人クラブとのお茶会、デイサービス交流会も実施した。
施策2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進					
2-1 子どもや母親の健康の確保					
	2-1-1	妊婦一般健康診査の充実 [重]	妊婦一般健康診査の普及・徹底を図るため、助成の回数を14回にし、受診券（一部助成券）を交付します。受診券が使用できない宮城県外医療機関の受診についても、助成金を交付します。	健康推進課	宮城県医師会との委託契約により、宮城県内産婦人科医療機関（岩手県一関市産婦人科5医療機関）で実施。健診回数 14回 1人当たり 上限108,790円の助成。 助産院・委託外医療機関受診者に対して、申請により健診費用を助成した。 妊婦一般健康診査受診者数 1回目 442人、2回目 435人、3回目 468人、4回目 435人、5回目 438人、6回目 497人、7回目 442人、8回目 426人、9回目 370人、10回目 355人、11回目 415人、12回目 356人、13回目 265人、14回目 127人
	2-1-2	新生児・乳幼児・妊産婦訪問指導 （再掲）[重]	訪問指導が必要な乳幼児及び妊産婦の家庭を保健師、助産師、栄養士等が訪問し、保健指導や相談を行います。とりわけ、育児不安の大きい出産直後から新生児訪問指導を行い、母親の不安解消や乳幼児の健やかな成長の一助とします。	健康推進課	・保健師または助産師が産婦新生児のいる家庭へ訪問し、育児支援や異常の早期発見、産後うつ病の早期発見、保健指導の実施した。 ・医療機関からのケース連絡もあり、早期に訪問対応ができた。 ・出生数 465人 訪問実施 462人（99.4%） （里帰りについては、他市町村と連携し、訪問を実施した。）
	2-1-3	乳幼児健康診査 [重]	乳幼児とその保護者を対象に発育・発達状況の確認と疾病の早期発見及び育児不安の軽減や解消を図るために実施します。市内を3ブロックに分けて実施し、健診後、精密検査や育児相談などが必要な場合は、関係機関と連携し対応します。 ○3～4か月児健診 ○1歳6か月児健診 ○3歳児健診 ○2か月児、8か月児健診（医療機関）	健康推進課	・各健診年12回×3会場集団健診実施 ・各種健診受診者数、受診率 3～4か月児健診 461人（98.7%） 1歳6か月児健診 477人（94.8%） 3歳児健診 554人（95.2%） ・宮城県医師会委託 個別医療機関 2か月児健診 434人（90.4%） 8～9か月児健診 349人（71.4%）

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況	
	2-1-4	歯科健診の充実	乳幼児期に4回の歯科健診、フッ素塗布、歯科衛生士によるブラッシング指導を実施します。また3歳児健康診査でむし歯のない子に対して、広報紙への写真掲載と表彰を行います。 ○1歳6か月歯科健診 ○2歳児歯科健診 ○2歳6か月歯科健診 ○3歳児歯科健診	健康推進課	・1歳6か月児健診 年12回×3会場 ・2歳児・2歳6か月児歯科健診 年12回×3会場 ・3歳児健診 年12回×3会場 ・1歳6か月児、2歳児、2歳6か月児、3歳児健診では、希望者にフッ素塗布を実施した。（どの健診も、95%以上が希望している） ・1歳6か月児、2歳児、3歳児に歯ブラシを配布、2歳6か月児にはデンタルフロスを配布した。	
	2-1-5	乳幼児相談の充実	保健師と栄養士・歯科衛生士・保育士による相談を実施します。子どもの発達に合わせた遊びや関わり、個別の相談等、10か月から11か月児を対象としたものや、定期の相談のほか、随時に相談を受けるなど、ニーズにあわせて実施します。親子の心の相談として、心理司の相談も行います。	健康推進課	・市の広報誌やホームページに各種相談や相談窓口を掲載した。 ・母子健康手帳や母子健康手帳別冊の交付と新生児訪問についての周知ポスターを大崎市、登米市、栗原市、一関市の産婦人科に掲示の依頼をし周知。 ・母子健康手帳交付時面接の実施 交付数 433件 ・相談対応（訪問、面接、電話） ・育児相談の実施 10～11か月児育児相談 年12回×3会場 414人（88.7%） のびのび子育て相談（心理職による相談） 年12回 28件 すくすく育児相談（築館） 年12回 延べ196人	
	2-1-6	母親学級・両親学級	出産予定の母親と家族を対象に妊娠・出産・育児について学ぶ場を提供することで、育児不安の解消や地域の仲間づくりを支援します。	健康推進課	・パパママセミナー 年3回×1会場（築館保健センター） 対象者：市内に居住する妊婦とその家族 参加状況 第1回（8月27日） 16組 第2回（11月27日） 13組 第3回（2月26日） 13組 内 容 妊婦体験、沐浴指導、産後の生活・栄養講話、みそ汁の塩分測定、個別相談など	
	2-1-7	定期健康診断の実施	学校保健計画に基づき、学校における健康診断を実施し、児童・生徒等の疾病の早期発見と健康状態の把握を行います。	学校教育課	希望のあった市内の市立小学校8校356人に実施。校保健計画に基づき、学校における健康診断を実施し、児童・生徒等の疾病の早期発見と健康状態の把握を行った。	
	2-1-8	健康教育の実施	保健だよりの発行等により、児童・生徒等の健康増進を啓発し、児童・生徒等の健康づくりを推進します。	学校教育課	保健だよりの発行等により、児童・生徒等の健康増進を啓発し、児童・生徒等の健康づくりを推進した。	
	2-2 「食育」の推進					
	2-2-1	栄養相談・栄養支援事業	乳幼児健診や育児相談における栄養士による相談の実施及び、乳幼児の家庭での食事を通じた家族の健康づくりの支援を行います。	健康推進課	・母子手帳交付時の個別栄養相談 ・各種乳幼児健診時の個別栄養相談 ・10～11か月児育児相談時の個別栄養相談	
	2-2-2	食に関する情報の提供	乳幼児家庭での食事を通じた健康づくりを支援するため、乳幼児健診や育児相談にて、保護者を対象に望ましい食生活に関する資料・情報を提供します。	健康推進課	乳幼児健診及び育児相談において、対象者に合わせた資料の配布を行った。特に朝食の摂食並びに野菜の摂取について、氾濫する栄養情報を整理し、正しい情報提供を行うことで「食事・栄養」に関する知識を提供し、実践につながるよう支援した。	

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	2-2-3	保育所における食育の推進	保育所の食事・行事・日常の保育を通して、健康な心身と良い食習慣を形成します。 ○楽しく食べる環境づくり ○保育所におけるアレルギー対応食の提供 ○「はやね、はやおき、あさごはん」推奨運動の推進	子育て支援課	食育を保育の一環として位置づけ、各保育所の創意工夫のもとに食育活動を実施した。 ○クッキング保育、調理活動：14保育所で延べ115回実施。 ○野菜の栽培活動：10保育所で、畑を利用して野菜栽培を実施。 ○アレルギー対応食の提供 医師の指示により、食物アレルギーに対応した給食の提供が必要な児童に対して、アレルギー対応食を提供。アレルギー対応食提供者数：3人 ○入所式や保育参加など保護者の集まる機会を利用し、「はやね、はやおき、朝ごはん」について啓蒙。
	2-2-4	母子対象食育推進事業	幼児・児童及びその保護者に対し、栄養士及び食生活改善員等によるクッキング教室を行い、幼児期からの食教育を通じて日常の正しい食習慣を形成し、子どもたちの健やかな成長と食生活の改善を図ります。 ○おやこ食育教室 ○子ども食育教室 ○子育て支援センター食育教室	健康推進課	幼児・児童・生徒やその保護者に対し、食生活改善推進員等と連携を図りながら、食育教室等を行い、望ましい食習慣の基礎づくりとその定着に向け食生活改善を図った。 ・おやこ食育教室等 47回 1,505人 ・食育モデル事業 7回 218人
	2-2-5	食生活改善推進員の活動支援	地域ぐるみの健康づくりを支援するために食生活改善推進員を育成し、活動を支援します。 ○各種健康教室の実施・支援 ○食事バランスガイドの普及	健康推進課	・食生活改善推進員育成事業 学習会等の実施 110回 2,051人（延） ・食生活改善推進員養成事業 学習会等の実施 5回 114人（延） （新規会員として24人が入会し、活動を開始）
	2-2-6	保健、教育等の連携の推進	保健・教育の連携により食に関する学習機会や情報の提供を進めます。 ○食と健康に関する教育の充実 ○アレルギー対応食に関する取り組みや指導 ○「はやね、はやおき、あさごはん」推奨運動の推進	健康推進課	保健・教育関係各課・機関と連携し、情報の共有を行った。 ・食育推進庁内担当者会議の実施 ・食育推進委員会、連絡会の実施 ・食育通信の発行（月1回）
2-3 思春期保健対策の充実					
	2-3-1	思春期保健相談体制の充実	学童期・思春期における心の問題について、相談体制の充実を図ります。 ○思春期保健講座及び相談 ○学校におけるカウンセリング ○家庭児童相談	学校教育課 子育て支援課 健康推進課	（学校教育課） 教育相談員1名、スクールソーシャルワーカー1名、問題を抱える子ども等の自立支援事業相談員・指導員各1名、在学青少年指導員等3名を配置して各種相談業務を実施した。 （健康推進課） ・思春期の性について講話（高清水中学校 第3学年対象） ・栗原保健所共催「くりはら思春期健康教育事業」 ピア育成 講話2回 対象者：迫桜高校と若柳中学校の生徒 ピアワークの実施 4回（迫桜高校2回、若柳中学校1回、築館中学校1回）

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	2-3-2	豊かな心を育む教育環境創造事業（再掲）	いじめ、不登校問題への対応として、問題を抱える児童・生徒、保護者等への指導相談体制を整備します。	学校教育課	教育相談員1名、スクールソーシャルワーカー1名、問題を抱える子ども等の自立支援事業相談員・指導員各1名、在学青少年指導員等3名を配置して各種相談業務を実施した。
2-4 小児医療の充実					
	2-4-1	小児救急医療の充実	小児科のホームドクターを持つことや、県が整備を推進している小児救急医療体制について周知を図ります。また、宮城県こども夜間安心コール事業について周知を図ります。	子育て支援課 健康推進課	（子育て支援課） 子育て関連のイベントや子育て支援センター等も利用しながら、更なる周知を図った。 （健康推進課） 産婦新生児時に、「宮城県こども夜間安心コール事業」のチラシを配布し、周知を図った。
	2-4-2	小児救急法の講習会実施	子どもの不慮の事故を予防し、事故や急病時に適正な対応ができるよう小児救急法の講習会を実施します。	子育て支援課 社会福祉課	（子育て支援課） くりはらキッズ&健康まつりで、参加者を対象にした栗原市消防本部による小児救急救命講座を実施した。
	2-4-3	乳幼児医療費の助成	乳幼児が必要とする医療を容易に受けられるようにするため、乳幼児が医療機関にかかった際に窓口で支払う保険診療の自己負担分を助成します。	子育て支援課	助成対象者数：2,697人 助成件数：4,389件/月 助成金額：85,708,772円
	2-4-4	子ども入院医療費の助成〔重〕	小・中学生が入院した際に医療機関の窓口で支払う保険診療の自己負担分を助成します。	子育て支援課	「栗原市子ども医療費助成事業」新設し、小学生及び中学生の外来診察も助成対象にするよう事業の拡充を図り、医療費の一部負担金を助成した。 助成対象者数：4,232人 助成件数 2,359件/月 助成金額 45,965,066円
施策3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備					
3-1 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備					
	3-1-1	「国際田園都市」づくり英語教育導入事業〔重〕	多文化共生のための国際理解や英語力向上のため、小学校に外国語指導助手を配置し、小学校英語活動の充実を図ります。	学校教育課	多文化共生のための国際理解や英語力向上のため、小学校に外国語指導助手5名を配置し、小学校英語活動の充実を図った。 ・小学校29校 3年生から6年生を対象に実施
	3-1-2	語学指導外国青年招致事業	JETプログラムにより、外国語指導を行う外国青年を招致し、市内中学校の外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルの国際交流の進展を図ります。	学校教育課	JETプログラムにより、外国語指導を行う外国青年10名を招致し、市内中学校の外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルの国際交流の進展を図った。 ・市内10中学校で週4日程度指導 ・その他、市内の小学校や幼稚園、地域活動において英語教育活動を展開した。
	3-1-3	青空大使派遣事業	次代を担う中学生に海外の文化に直接触れる機会を提供し、多文化共生社会に対応し、将来の地域を担う国際的視野を持った人材を育成します。	社会教育課	公募選抜による市内の中学生20名を対象に国内研修5回・海外研修1回を実施。8月1日～7日の日程でオーストラリア・クイーンズランド州で、語学・高中・自然体験等を行った。

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	3-1-4	学府くりはら「学力向上推進事業」	学力向上のための各学校での独自の取り組みや、宮城教育大学と連携した「学府くりはら塾」の開講などにより更なる学力向上を図ります。	学校教育課	学力向上のための各学校での独自の取り組みの支援や、宮城教育大学と連携した「学府くりはら塾」の開講などにより更なる学力向上を図った。 ・学府くりはら塾 夏休みと冬休みに実施
	3-1-5	補助教員の配置 [重]	複式学級及び障害を有する児童・生徒が普通学級で学習や生活する場合の介助等を行い、よりきめ細やかな学習指導、生徒指導を実施します。	学校教育課	複式学級及び障害を有する児童・生徒が普通学級で学習や生活する場合の介助等を行う職員を採用し、よりきめ細やかな学習指導、生徒指導を実施した。 ・補助教員 小学校5校5人 中学校4校5人 ・補助員 小学校12校15人
	3-1-6	豊かな心を育む教育環境創造事業 (再掲)	いじめ、不登校問題への対応として、問題を抱える児童・生徒、保護者等への支援や相談体制を整備します。	学校教育課	教育相談員1名、スクールソーシャルワーカー1名、問題を抱える子ども等の自立支援事業相談員・指導員各1名、在学青少年指導員等3名を配置して各種相談業務を実施した。
	3-1-7	教育副読本の整備	小学校社会科副読本、中学校社会科地域教材、道徳郷土資料集の作成等を行います。	学校教育課	小学校社会科副読本、中学校社会科地域教材、道徳郷土資料集の見直しを行った。
	3-1-8	学校評議員の導入	学校・家庭・地域が連携し、開かれた学校を目指し、学校評議員を幼稚園、小・中学校に設置します。	学校教育課	学校・家庭・地域が連携し、開かれた学校を目指し、学校評議員を幼稚園、小・中学校に設置した。
	3-1-9	「栗原市立学校再編計画」の推進 [新]	少子化傾向により学校の小規模校化が進行している状況で、小規模校化による課題などを解消し教育効果を高めるため、「栗原市立学校再編計画」に基づき、市内小・中学校の適正規模の確保、適正配置を実現するため、保護者や地域の合意のもと学校再編を推進し、教育環境を整えていきます。	学校教育課	・合意に至っていない学校区においては、保護者との話し合いを継続し、保護者合意後は、地域との話し合いを実施。 ・各再編準備委員会で引き続き具体的な計画づくりを実施。 【平成23年4月一部先行再編】 栗駒小学校耕英分校を閉校し、岩ヶ崎小学校の通学区域とした。

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	3-1-10	幼稚園3年保育の実施 [新]	幼児教育の充実を図るため、幼稚園再編と施設整備を考慮しながら、市立幼稚園の保育年数を3年に統一し、できるだけ早い時期に全ての市立幼稚園での3年保育を実施します。	学校教育課	・4月から鶯沢幼稚園で3年保育を実施。
	3-1-11	給食未実施幼稚園への給食提供の検討 [新]	給食未実施幼稚園の解消について、学校再編計画などの関連計画の進捗動向や、施設改修を伴うことによる費用対効果などをふまえながら検討していきます。	教育総務課	■2幼稚園（尾松・花山）を給食提供開始 ※未実施幼稚園7幼稚園（築館・玉沢・宮野・富野・岩ヶ崎・瀬峰・ふたば）
	3-1-12	スクールバスの運行 [新]	遠距離通学の園児・児童・生徒の通学における負担軽減や安全確保のため、学校再編計画など関連計画の進捗状況を踏まえ、スクールバスの運行を検討していきます。	教育総務課	■スクールバス 34ルート（9幼稚園・11小学校・4中学校） ■市民バス添乗員 5路線（5幼稚園）
	3-1-13	環境教育の推進	自然保護やリサイクルなどの資源の再利用についての理解を深め、環境やアメニティに配慮するなどの環境教育を推進します。	環境課	10月29日～30日の栗駒地区で開催された産業祭りにおいて環境コーナーを開設し、市民を対象に自然保護や市内のごみの状況、ごみの出し方などをPRした。
	3-1-14	親と子のふれあい事業	栗原の自然と、日常体験できないスポーツとの融合を図り、親子の絆を深め、コミュニケーション力の向上と子どもの生きる力を育みます。	社会教育課	震災のため、実施無し。
	3-1-15	「目指せ！日本一」「やったね！日本一」スポーツ振興事業	各種スポーツの全国大会などへの出場選手（団体）に参加費助成を行い、全国大会で優秀な成績を収めた選手（団体）に活動費の助成などを行い、競技力の向上を図ります。	社会教育課	「目指せ！日本一」全国大会等参加補助金 個人・団体 29件 2,756,000円 「やったね！日本一」スポーツ活動費助成補助金 団体 1件 30,000円
	3-1-16	スポーツ少年団の充実	スポーツ少年団活動の充実を図り、誰もが楽しみながら参加できるようにします。	社会教育課	・市スポーツ少年団本部への補助金交付 ・市スポーツ少年団交流大会（ドッジビー）の開催
	3-1-17	指導者養成講座の充実	スポーツ・レクリエーション活動の一層の普及を図るため、スポーツ指導者及び指導者養成のための講座等を充実します。	社会教育課	・市スポーツ推進委員研修会の開催 ①風船バレー
	3-1-18	総合型地域スポーツクラブの整備	体育施設において、多種目のスポーツをあらゆる世代の人に親しんでもらうため、総合型地域スポーツクラブの形成を支援します。	社会教育課	総合型地域スポーツクラブ設立・育成に向けて、各地区で「地区スポーツクラブ検討会議」を開催。若柳地区で、プレ事業を開催。若柳地区ではスポーツクラブ設立準備委員会を結成。

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
3-2	3-1-19	私立幼稚園就園奨励事業	私立幼稚園の教育条件の維持・向上並びに私立幼稚園に在園する幼児の就園にかかる経済的負担軽減を図るため、就園及び幼稚園運営に必要な補助を行います。	学校教育課	私立幼稚園の教育条件の維持・向上並びに私立幼稚園に在園する幼児の就園にかかる経済的負担軽減を図るため、就園及び幼稚園運営に必要な補助を行った。 ・交付対象児童数 79人
	3-1-20	絵本講座	毎月図書館で、絵本の読み聞かせ会や絵本の展示会を実施します。	社会教育課	毎週土曜日に図書館で、絵本の読み聞かせや手遊びを行った。年に一回、昨年度に出版された子どもの本の展示会を実施した。
	3-2 家庭や地域の教育力の向上				
	3-2-1	家庭教育講演会	小学校や幼稚園が行う家庭教育の講演会の開催等を支援します。	社会教育課	市内の小学校や幼稚園が行う家庭教育学級の開催を講師謝礼助成、講師紹介等で支援した。 小学校：7校 幼稚園：13園
	3-2-2	家庭・地域・学校の連携による青少年育成のための協働教育事業	家庭・地域・学校をつなぐコーディネーターの育成や、生涯学習の成果を生かすためのボランティアの育成を通じて、家庭と地域の教育力の向上を図ります。	社会教育課	家庭・地域・学校をつなぐ仕組みづくりやコーディネーターの育成、生涯学習の成果を生かすためのボランティアの育成を通じて、家庭と地域の教育力の向上を図るべく実施。 栗原市としての協働教育推進事業をH22より実施。 【推進指定校：有賀小学校区、志波姫小学校区、瀬峰地区】
	3-2-3	くりはらの財（たから）人づくり共育（きょういく）事業	「地域づくりは人づくり」の観点から、県内のNPOなどで地域づくりに関わっている方を講師に、将来のまちづくりの担い手となる若手のリーダーを育成します。	社会教育課	地域づくり、人づくりを積極的に行っている青年団体に対し補助金を交付して事業を展開した。 助成団体数：2団体
	3-2-4	生涯学習人材バンク「まなびの財（たから）箱」の充実	市民からの指導者の派遣要請など、多様なニーズに対応するため、ボランティアバンク登録者との連携を図りながら、生涯学習人材バンク制度の充実を図ります。	社会教育課	社会教育課・教育センターにおいて各種事業の講師等を新たにデータに加えられるよう整理を行った。
	3-2-5	ジュニアリーダーの育成	子ども会活動及び地域社会の振興を図るため、年少リーダーとして必要な知識や技能を教え、将来の地域のリーダーとして育成します。	社会教育課	子ども会活動及び地域社会の振興を図るため、年少リーダーとして必要な知識や技能を習得させ、将来の地域のリーダーとなる人材を育成した。 【事業内容：県子ども会主催事業への参加、JL初級・中級・上級研修会への参加、市JL技術研修会の実施、地区子ども会活動への派遣】
3-2-6	学校芸術鑑賞事業「本物の舞台・美術ワークショップ事業」	次代を担う児童・生徒を対象に、優れた芸術を鑑賞する機会を提供することにより、芸術に対する興味・関心を喚起し、生涯にわたって芸術に親しみ、心豊かな生活を創造していく力を育てます。	社会教育課	次代を担う子どもたちに、幼児期から発達段階に応じて、優れた芸術の鑑賞機会を提供し、芸術の素晴らしさを体感することによって素直に感動する心を育み、子どもたち一人一人の健全育成を目的に実施。 ・学校巡回公演 「美術ワークショップ」（幼稚園1園で実施）、「巡回小劇場」（小学校2校で実施）、 「青少年劇場小公演」（小学校5校で実施）、「音楽アウトリーチ事業」（小中学校4校で実施）。 ・文化施設公演 「小学校1年から小学校4年 芸術鑑賞会」（3公演）、「小学校5年から中学校3年 芸術鑑賞会」（4公演）	

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
3-3 子どもを取り巻く有害環境対策の推進					
	3-3-1	有害環境対策	性や暴力等に関する過激な情報を内容とする雑誌やビデオ、コンピュータ・ソフト等の有害図書類を販売している一般書店やコンビニエンスストア等に対し、関係機関と連携し、自主的措置を行うよう働きかけます。	社会教育課	青少年のための栗原市民会議の役員及び会員が、各地域、中学校等との連携で、防犯パトロールなど日頃の活動を行った。
施策4 子育てを支援する生活環境の整備					
4-1 良質な住宅の確保					
	4-1-1	市営住宅の整備	栗原市営住宅ストック総合活用計画並びに今後策定する栗原市公営住宅長寿命化計画にもとづき、高い安全性・居住性が確保された市営住宅の整備を進めます。	建築住宅課	市営上町裏住宅非現地建替え（造成工事）
	4-1-2	勤労者の定住促進支援 [新]	市内の勤労者及び市外から転入した勤労者の定住促進支援を行います。	産業戦略課	栗原市勤労者定住促進奨励金の交付を行った。 市内に居住している勤労者及び市外から転入した勤労者が市内に持家を取得した場合、奨励金を交付する。 ・奨励金：土地の課税標準額の100分の1.4 ・土地：土地区画整理法、都市計画法、栗原市開発指導要綱に基づき開発された土地で新たに購入した170㎡以上の土地 ・期間：持家を取得した日の翌年度から3箇年 ・H23年度実績：3件 44,000円
4-2 良好な居住環境の確保					
	4-2-1	戸別浄化槽設置事業 [新]	公設、公管理の市設置型浄化槽の設置を推進し、水洗化を促進します。	下水道課	築館23基、若柳19基、栗駒29基、高清水14基、一迫18基、瀬峰6基、金成7基、志波姫16基 合計132基
	4-2-2	住まいの耐震対策の促進 [新]	住まいの耐震診断、耐震改修や家具の転倒防止により、安全・安心な居住環境の確保を図ります。	建築住宅課	・木造住宅耐震診断 100戸 ・木造住宅耐震改修工事 24戸 ・家具転倒防止器具取付 20戸 に対する助成
4-3 安全な道路交通環境の整備					
	4-3-1	計画的な道路整備	市道の計画的な拡幅や歩道・待避所の設置等により危険箇所や交通渋滞の解消を図ります。	建設課	芦ノ口上原線L1,161m、広域線L=493m
	4-3-2	生活道路拡幅整備事業	住宅地周辺の生活道路については、計画的な拡幅整備を行い交通安全上の配慮はもとより、災害時の避難、緊急車両等の通行や消防活動の円滑化を図ります。	建設課	清水小栗目・日照線L=250m、十日市線L=260m、高松倉線L=241m、間渡戸線L=1,256m

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況	
	4-3-3	カーブミラーの整備	交通事故防止のため、公道の交差点等へのカーブミラーの整備を図ります。	危機対策課	市内22箇所に設置 市内20箇所を修繕	
	4-3-4	交通安全看板等の設置	市内における交通事故等の抑止のため、交通安全に関する看板等を設置します。	危機対策課	市内4箇所に設置予定	
	4-3-5	夜間の交通事故防止対策	主要市道及び生活道路として利用されている市道交差点に、照度アップ等照明の改良も含め、道路照明灯の整備を図ります。	建設課	未実施	
	4-4 安心して外出できる環境の整備					
	4-4-1	公共施設等のバリアフリー化の推進	公共施設等の整備にあたっては、「バリアフリー新法」（平成18年12月制定）や「だれもが住みよい福祉のまちづくり条例」（平成8年7月宮城県制定）に基づきバリアフリー化を進めます。	社会福祉課 建設課 都市計画課 建築住宅課	（社会福祉課） 高清水保健センター及び志波姫保健センターのトイレを改修し、オストメイト対応トイレを設置した。 （都市計画課） 都市計画街路の整備にあたり歩道への点字ブロック設置や車道と横断歩道との境目の段差解消工事を実施し、バリアフリー化を進めた。 （建築住宅課） 栗原消防署北分署建設 若柳中学校校舎改築工事	
4-5 安全・安心まちづくり推進等						
	4-5-1	防犯灯の設置	夜間における犯罪等の防止を図るため、防犯灯を設置します。	危機対策課	市内54箇所に設置	
	4-5-2	児童遊園、公園の整備・管理	子どもの安全な遊び場を確保するため、児童遊園、公園の安全管理や事故防止を図ります。	子育て支援課 都市計画課	（子育て支援課） 遊具専門業者による安全点検を実施し、危険遊具の改修・撤去を実施した。 （都市計画課） 資格を有する専門業者による遊具の定期点検、職員による毎月の日常点検をそれぞれ実施し、必要な箇所については修繕を行った。	
施策5 職業生活と家庭生活との両立の推進						
	5-1 就労者の経済的自立に向けた支援					

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	5-1-1	高校卒業予定者等の就職支援 [新]	ハローワーク（築館公共職業安定所）やポリテクカレッジ（東北職業能力開発大学校）と連携を図り、高校卒業予定者等の就職を支援します。	産業戦略課	◆高校卒業予定者等の支援 ①ジョブ・フェア春（東北職業能力開発大学校生を対象とした市内企業紹介）：企業3社、学生121名 ②ジョブ・フェア夏（高校及び大学等を対象とした企業ガイダンス）：企業19社、学校23校、生徒112名 ③ジョブ・フェア秋（高校及び大学等の卒業予定者を対象とした予備面接会）：企業15社、学校17校、生徒42名 ◆事業所の支援 新規高校卒業者を6か月以上雇用した場合、奨励金を交付。 H23実績：44社、87名
	5-1-2	求人情報提供の充実	市の広報紙やホームページを活用し、身近に求人情報が得られるように図ります。	産業戦略課	・ハローワークの求人情報を市のホームページに、毎週木曜日に公開した。 ・市の緊急雇用等臨時職員の募集について、市の広報紙やホームページに掲載した。
	5-1-3	母子家庭の母の就職支援 [新]	母子家庭の母の就職支援のため、資格取得や教育訓練の受講にかかる費用を助成し、母子家庭の生活の安定化を図ります。	子育て支援課	高等技能訓練促進費助成 助成件数：1人 助成金額：1,057,500円 自立支援教育訓練給付金 助成件数：0人 助成金額：0円
5-2 仕事と子育ての両立の推進					
	5-2-1	通常保育事業（再掲） [重]	保護者が日中就労等のために保育できない児童を保育所で保育します。	子育て支援課	栗原市入所児童 963人（H24.3.31現在） 市内保育所 950人 市外保育所 26人（大崎市5人、登米市12人、一関市9人） 広域受託児童 13人（大崎市4人、登米市2人、一関市7人） 引き続き、入所児童の世帯状況に応じて入所承諾期間の制限を行い、待機児童の解消に努めた。
	5-2-2	延長保育（再掲）	保育所において、通常保育の前後に時間を延長して保育を行います。	子育て支援課	保護者の希望に応じ、栗原市の全保育所で実施した。 平成23年度利用件数 平日利用 182件 土曜利用 63件
	5-2-3	一時保育 （再掲）	保育所に入所していない児童を対象に、一時的に保育が必要となった場合や、保育者のリフレッシュ等のために児童を預かります。	子育て支援課	保護者の希望に応じ、栗原市の10保育所で実施した。 平成23年度利用件数 一日利用 2,883件 半日利用 606件 給食利用 3,141件
	5-2-4	病児・病後児保育 （再掲）	保育所等へ通所中の児童が発熱等の急な病気となった場合、当該児童を専用スペース等において保育する事業です。地元医療機関と協議し実施に向けた検討を行います。	子育て支援課	病児・病後児保育事業の実施の可能性について調査・研究を行った。
	5-2-5	幼稚園預かり保育 （再掲）	幼稚園における教育時間終了後、家庭において保育に欠ける園児を対象に午後も引き続き園児を預かります。	学校教育課	市内7園で幼稚園における教育時間終了後、家庭において保育に欠ける園児を対象に午後も引き続き園児を預かった。 ・通常保育日（月～金） 降園後から午後6時まで ・長期休業等（夏季等） 午前8時から午後6時まで ・一時預かり保育の実施

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況	
	5-2-6	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） （再掲）〔重〕	保護者が仕事等により、日中家庭にいない小学校低学年の児童を、授業の終了後、小学校や集会所、児童館等で預かり、「遊び」や「生活」を通して、子どもの健全育成を図ります。	社会教育課	平成23年度利用児童数（平成24年3月31時点）：488（定員575） 築館：96(105)、宮野：24(40)、若柳：88(80)、栗駒：31(30)、尾松：24(35)、高清水：34(30)、一迫：39(40)、金田：15(20)、長崎：0(20)、姫松：8(20)、瀬峰：23(30)、鶯沢：19(30)、金成：23(20)、志波姫：64(65)、花山：0(10)	
	5-2-7	くりはらファミリー・サポート事業 （再掲）〔重〕	児童の預かり等の援助を受けることを希望する人と、援助を行うことを希望する人との相互援助活動に関する連絡・調整を行います。また、会員相互の交流や仲間づくりを推進します。	子育て支援課	協力会員講習会の開催：1月28日 参加人数 12人 協力会員ステップアップ講習会及び意見交換会の開催：10月5日 参加人数 7人 利用会員及び協力会員募集のための事業周知及び啓発活動 会員数： 利用会員数 44人（H23.3.1現在）→53人（H24.3.1現在） 協力・両方会員数 42人（H23.3.3現在）→43人（H24.3.1現在） 援助活動件数：605件（H23.3.31現在）→363件（H24.3.31現在）	
	5-2-8	男性の育児休業取得の推進	男性の育児休業取得を推進するため、事業所及び従業員に対して啓発を行います。	市民協働課 産業戦略課	（市民協働課） 未実施 （産業戦略課） 未実施	
	5-3 男女共同による子育ての推進					
	5-3-1	男性の家事参加促進のための啓発 〔重〕	男女共同の家庭づくりを進めるため、男性が家事・育児・介護等に積極的に参加するよう啓発に努めます。	市民協働課	広報に啓発記事を掲載 ・9月16日号「高齢社会と男性の家事」 ・2月16日号「食と男女共同参画」	
	5-3-2	男女共同参画の推進	性別役割分担意識を解消し、男女がのびやかに生活ができ、子育ての喜びが共有できるよう支援していきます。	市民協働課	男女共同参画講演会の開催（10月18日） DV防止講演会（6月28日：迫桜高校） 広報において啓発記事を掲載 男女共同参画推進リーダー養成講座を開催	
	施策6 子ども等の安全の確保					
	6-1 子どもの交通安全を確保するための活動の推進					
6-1-1	交通安全教室	子どもたちを交通事故から守るため、幼稚園、保育所、小学校を巡回し、交通安全教室を実施します。	危機対策課 子育て支援課 学校教育課	（子育て支援課） 所轄警察署等の協力により、保育所児を対象とした交通安全教室等を実施した。 （学校教育課） 子どもたちを交通事故から守るため、幼稚園、保育所、小学校を巡回し、交通安全教室を実施した。		
6-1-2	交通安全運動の実施	警察署や交通安全関係機関と連携し、交通安全運動を積極的に展開していきます。	危機対策課	幼稚園、保育所、小中学校からの依頼により交通安全指導員・警察による交通安全教室を実施した。		

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況	
	6-1-3	交通指導員の配置	主に小学生の登校、下校時の交通安全を図るため、市内通学路の交差点に交通指導員等を配置します。	危機対策課	春・秋の交通安全県民総ぐるみ運動を中心に、各地区ごとに街頭指導や市内幼稚園や小中学校での交通安全教室に参加した。	
	6-1-4	交通安全推進団体による交通安全の推進	交通安全協会・交通安全母の会に対し補助金を交付し、交通安全活動を推進します。	危機対策課	交通安全協会・交通安全母の会に対し補助金を交付し、交通安全活動を推進した。	
	6-2 子どもを犯罪等から守るための活動の推進					
	6-2-1	安心・安全メールの配信 [新]	災害や不審者の情報を携帯電話やパソコンに、電子メールでお知らせします。	危機対策課	事案発生の都度対応した。	
	6-2-2	防犯体制の充実	安全で安心なまちづくりのため、警察署を始めとする関係団体・機関と連携し、暴力排除・防犯活動を推進します。	危機対策課	警察、各地区防犯協会が主体となって暴力排除・防犯活動を展開した。	
	6-2-3	防犯協会等への活動支援	市防犯協会等に対し補助金を交付し、防犯に関する活動を推進します。	危機対策課	地区防犯協会、築館・若柳地区防犯協会連合会へ補助金を交付し、防犯活動を推進した。	
	6-2-4	防犯に関する普及・啓発活動の実施	安全・安心なまちづくりのため、市民との協働により防犯に関する普及・啓発活動を行います。	危機対策課	各地区の防犯協会が中心となり普及・啓発活動を実施した。	
	6-2-5	保護者・地域との連携による防犯活動の推進	保護者や地域の市民・学校・警察などが連携し、「子ども110番の家の設置」や「学校付近のパトロール活動」を行うなど、防犯活動を推進します。	危機対策課	警察、各地区防犯協会が主体となって、保護者や地域の市民・学校と連携し「学校付近のパトロール活動」を行うなど、防犯活動を実施した。	
	6-2-6	防犯研修会等の充実	関係機関との連携を強化し、暴力排除に関する意識の普及・啓発を推進するとともに、警察署などと連携し、自治会等の防犯研修会等を開催します。	危機対策課	宮城県、宮城県暴力追放運動水センター等の研修会や行事に参加した。	
	6-3 防災対策					
6-3-1	避難訓練等の実施	保育所・幼稚園、小・中学校において、避難計画に基づき、定期的に避難訓練を行います。	子育て支援課 学校教育課	（子育て支援課） 保育所において、月に1回、火災や地震及び不審者等に対する避難訓練を実施した。 （学校教育課） 幼稚園、小・中学校において、避難計画に基づき、定期的に避難訓練を実施した。		

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	6-3-2	自主防災組織への支援 [新]	地域の防災力を高めるため、自主防災組織の設立やその活動を支援します。	危機対策課	市内行政区すべてで自主防災組織が組織化された。自主防災組織の活動を支援するためい・ど・う市民セミナー等の要請により消防署と連携し、防災マップ作りや初期消火訓練・避難誘導訓練等各種訓練に講師として対応した。
施策7 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進					
7-1 児童虐待防止対策の充実					
	7-1-1	児童虐待防止ネットワークの構築 [重]	要保護児童の早期発見、その適切な保護並びに要保護児童及びその保護者等への支援を図るため、栗原市要保護児童対策地域協議会を運営します。 ○代表者会議の開催 ○実務者会議の開催 ○個別ケース検討会議の開催	子育て支援課	各会議及び研修会の開催 ○代表者会議 1回 ○実務者会議 2回（5ブロック制） ○個別ケース検討会議 16回 ○研修会 2回
	7-1-2	児童虐待に関する相談体制の確立	児童虐待やDVに関する相談窓口を子育て支援課に設置し、保健師・家庭相談員・担当職員が相談にあたります。また、各総合支所の保健師等により、市民に身近なところでの相談を行います。	子育て支援課	相談窓口の開催を広報に定期的に掲載し、子育て支援課職員及び家庭相談員が相談に応じた。また、総合支所の保健師等も相談対応し、関係機関との連携し助言指導を行った。
	7-1-3	緊急一時保護	緊急一時保護が必要な児童に関して調査をし、必要と認められる場合、児童相談所に通告を行います。	子育て支援課	○一時保護対応した件数5件（児童養護施設1名、里親3名、家庭復帰2名） ○施設入所件数 乳児院3名、児童養護施設11名
	7-1-4	カウンセリングの実施、保護者に対する助言	いじめ、児童虐待等により被害を受けた子どもの心のケアや保護者へのカウンセリング等、児童相談所と連携し立ち直りの支援を行います。	子育て支援課	子育て支援課職員及び家庭相談員が相談に応じ、関係機関と連携し助言指導を行った。
	7-1-5	児童虐待防止に関する啓発及び支援者の資質向上	児童虐待防止に関する市民の意識の向上を図るため、講演会や各種団体を対象とした講座を開催するなど、市民の意識の啓発や支援者の資質向上などに努めます。 ○市民を対象にした講演会等の開催 ○各種団体からの要請に応じた講座の開催 ○支援技術に関する研修会の開催など ○広報等を活用した啓発活動	子育て支援課	児童虐待防止に関する市民の意識の向上を図るため、講演会や各種団体を対象とした講座を開催するなど、市民の意識の啓発や支援者の資質向上などに努めた。 ○市民を対象とした研修会 「災害後のこころのケア～内陸地震と東日本大震災を経験した子ども達のために」徳永雅子氏 平成23年10月25日 参加96名 「地区民生委員児童委員協議会での研修の参加」 2地区参加 ○支援技術に関する研修会 「精神疾患・アルコール問題のある家族に対するの関わり」徳永雅子氏 平成23年10月24日 参加34名 ○児童相談所・精神保健センターなど各団体主催の研修受講。 ○児童虐待防止月間（11月）に併せた広報への掲載。
7-2 ひとり親家庭の支援の推進					

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	7-2-1	生活援助対策事業の推進	ひとり親家庭に対して、自立した生活を送ることができるよう、児童扶養手当や医療費支給等の支援を実施します。	子育て支援課	児童扶養手当の支給と母子・父子家庭医療費助成を行った。 児童扶養手当受給者数：686人（10月1日時点） 母子、父子家庭医療費助成対象者数：1,549人（4月1日時点） 母子家庭：560世帯、父子家庭：97世帯、養育者世帯：16世帯
	7-2-2	母子家庭の母の就職支援（再掲）[新]	母子家庭の母の就職支援のため、資格取得や教育訓練の受講にかかる費用を助成し、母子家庭の生活の安定化を図ります。	子育て支援課	高等技能訓練促進費助成 助成件数：1人 助成金額：1,057,500円 自立支援教育訓練給付金 助成件数：0人 助成金額：0円
	7-2-3	女性・母子相談	女性・母子（ひとり親家庭含む）に関する相談に応じ、助言指導するとともにDV等の相談に関係機関と協力し対応します。	子育て支援課	子育て支援課職員及び家庭相談員が相談に応じ、関係機関と連携し助言指導を行った。
	7-2-4	母子生活支援施設入所	保護の必要が認められる母子家庭に対して入所を行います。	子育て支援課	栗原市母子寮 定員20世帯 平成24年3月末 12世帯
	7-2-5	母子・寡婦福祉資金貸付	母子家庭の母及び寡婦の経済的自立や、扶養している子どもの福祉増進のために必要な資金の貸付について、情報提供や相談に応じ、貸付機関につなぎます。	子育て支援課	電話や来所による相談に応じ、社会福祉協議会や宮城県が実施している貸付制度を紹介した。
	7-2-6	母子寡婦福祉連合会	母子寡婦福祉連合会の活動を支援します。	子育て支援課	栗原市母子寡婦福祉連合会へ補助金を交付し活動を支援した。 380,000円
7-3 障害児施策の充実					
	7-3-1	乳幼児健康診査の充実（再掲）[重]	乳幼児を対象に発育・発達状況の確認と疾病の早期発見及び親の育児不安の軽減や解消を図ります。	健康推進課	・各健診年12回×3会場集団健診実施 ・各種健診受診者数、受診率 3～4か月児健診 461人（98.7%） 1歳6か月児健診 477人（94.8%） 3歳児健診 554人（95.2%） ・宮城県医師会委託 個別医療機関 2か月児健診 434人（90.4%） 8～9か月児健診 349人（71.4%）
	7-3-2	定期健康診断の実施（再掲）	学校保健計画に基づき、学校における健康診断を実施し、児童・生徒等の疾病の早期発見と健康状態の把握を行います。	学校教育課	学校保健計画に基づき、学校における健康診断を実施し、児童・生徒等の疾病の早期発見と健康状態の把握を行った。
	7-3-3	補助教員の配置（再掲）	複式学級及び障害を有する児童・生徒が普通学級で学習や生活する場合の介助等を行い、よりきめ細やかな学習指導、生徒指導を実施します。	学校教育課	複式学級及び障害を有する児童・生徒が普通学級で学習や生活する場合の介助等を行う職員を採用し、よりきめ細やかな学習指導、生徒指導を実施した。 ・補助教員 小学校5校5人 中学校4校5人 ・補助員 小学校12校15人

栗原市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施事業状況一覧

①施策体系	②番号	③実施事業名	④事業内容（目標）	⑤事業所管課	⑥平成23年度実施状況
	7-3-4	在宅福祉サービスの推進	障害児ができる限り住み慣れた地域で生活できるよう、居宅介護、短期入所、日中一時支援事業といった、地域の実情に合わせた福祉サービスの充実を図ります。	社会福祉課	<p>【居宅介護】（H23年度末） 実利用人員 54名 年間延べ利用時間 877時間</p> <p>【短期入所】（H23年度末） 実利用人員 31名 年間延べ利用日数 374日</p> <p>【日中一時支援事業】（H23年度末） 実利用人員 26名 年間延べ利用回数 1,291回</p>
	7-3-5	障害児通園サービスの実施	市内には、知的障害児通園施設はげまし学園と、宮城県金成支援学校があり、障害児が早期からこうした施設を利用することにより、一人一人の個性や可能性を伸ばす教育の推進を図ります。	社会福祉課	平成23年度は2歳から就学前の幼児8名が利用し、利用延べ人数1,446人となります。（H.23.4月6名在籍、4月に1名、8月に1名が入園）知的に障害のある児童と肢体不自由を伴う重複障害児童の利用があり、一人ひとりの障害の特性にあわせた療育支援を行うとともに理学療法士による機能回復訓練を行い療育支援の充実に努めました。
	7-3-6	保育・教育相談窓口の整備	障害を有する児童の早期からの教育相談体制など、より気軽に相談できる体制の整備・充実を図ります。また、福祉事務所や保健センター等の関係機関の相談機能を強化するとともに、各機関が連携し適切な相談活動ができるよう努めます。発達障害等に早期に対応するため、専門的相談を行う関係機関との連携を密にします。	子育て支援課 健康推進課 社会福祉課 学校教育課	<p>（子育て支援課） 相談体制の整備・充実を図り、障害児の健康・自立に向けて、関係機関と連携し支援した。</p> <p>（学校教育課） 障害を有する児童の早期からの教育相談体制など、より気軽に相談できる体制の整備・充実を図ります。また、福祉事務所や保健センター等の関係機関の相談機能を強化するとともに、各機関が連携し適切な相談活動ができるよう努めました。</p> <p>発達障害等に早期に対応するため、専門的相談を行う関係機関との連携を密にしました。</p> <p>（社会福祉課） ・相談支援事業所 障害児相談件数 実34件 ・えくぼ巡回相談 実8件 延 12件 ・金成支援学校主催 進路支援会議に参加 ・在校生徒支援会議開催 1～2回/月 ・他の支援学校との支援会議に参加 実5件 延 7件</p>